

ヘリコプター体験搭乗者を募集



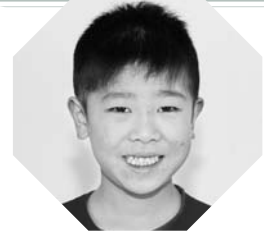
航空自衛隊山田分屯基地では、創立50周年記念として、ヘリコプターの体験搭乗を行います。ヘリコプターによる空の散歩を楽しみませんか。希望の方はお申し込みください。

- ◆日時 7月29日(日) 午前10時～
- ◆場所 航空自衛隊山田分屯基地
- ◆募集人数 80人(応募者多数の場合は抽選)
- ◆申し込み方法 役場住民生活課窓口へ備え付けの体験搭乗用往復はがきに必要事項を記入し、切手を貼付の上郵送してください。
- ※抽選結果は7月6日までに応募者全員に通知するほか、当せん者は搭乗手続きとして7月8日(日)に町民総合運動公園駐車場(予定)で書類への事前の署名と捺印が必要となります。詳しくは役場住民生活課窓口へ備え付けのパンフレットをご覧ください。
- ◆申込期限 6月21日(必着)
- ◆問い合わせ 航空自衛隊山田分屯基地総括班総務係 ☎82-2636内線202) へどうぞ。

イラスト



みんなのスペース



こばやし きりゆう くん (山田第二保育所・5歳)

ぼくのゆめ

大きくなったら救命救急士になりたい。困っている人も救急車で運んで助けてあげるんだ。

古里への便り②



ふる里山田同郷の会幹事 東京都八王子市

中山 努さん(57歳) (船越出身)

「光陰矢のごとし」のたとえをしみじみ実感している今日のごろです。生まれ育った山田を出て、今年でちょうど40年目を迎えます。18歳で古里を出て、山田以外での生活が山田での生活の倍以上になるのですが、私にはなぜか山田で過ごした18年間のほうが長く感じられます。過ぎ去った日々の時間の経過は若い時ほど遅く、年を重ねるにつれてだんだんと速く感じられるのは不思議な気がします。

仙台、神奈川県平塚、東京、新潟県六日町、大阪、京都など

の各地で過ごし、現在、東京に落ちついて25年になります。東京での生活は通算して32年となり、一般的には東京が「第二の古里」といえるのですが、私にはまったくそのような感慨がありません。生まれて18年間、人生の最も多感な時期を過ごした山田の風土人情、言葉、食べ物はしっかりと私に染み付いており、私の古里は「山田」だけなのです。

そんな古里の自慢の一つは素晴らしい自然景観。仕事の関係で国内外の有名観光地も多く見してきましたが、そのたびに思ったのは古里の景観との比較です。素晴らしさの点で山田はこれらの観光地にまったく劣っていないどころか、むしろ優れている

と感じたときの方が多かったと思います。わが古里は世界に誇れる優れた観光資源を保有している、誇りに感じています。

素晴らしい景観の中でもとりわけ私の好きな一つは四十八坂からの太平洋の雄大な眺めです。毎年、お盆には車で帰省するのですが、この開放感いっぱい風景に出会った瞬間、古里に帰った実感がわき、長時間運転の疲れも一瞬にして忘れてしまふような爽快感を味わえます。

40年前に比べて山田もだいぶ変わりましたが、それでも豊かな自然はまだ多く残されています。自然破壊や温暖化など、地球を取巻く環境問題は山積していますが、素晴らしい自然を子々孫々まで自慢できる「古里山田」であり続けてほしいと願っています。

投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

山田よいと好きな町(八)

山田は自然が豊かで人情味のある私達の古里。どこの町でもそうですが、わが山田の四方にも多くの神仏が祭られていて、ここに住む人々をしつかり見守っておられる。その数知れない

多くのうち何方かを選んで読者の皆さまと一緒して巡ってみましょうか。

山田の神仏については、山田町史(上巻)で紹介されており、一口に宗教といっても神教や仏教、キリスト教にイスラム教などと数え切れないほどありますが、人は何を信じようとする自由です。イワシの頭でも信ずれば神だそうですから。中に

は神も仏も信じないときっぱり言う人もいて、いわゆる無神論者、思想上のこともあり、それはそれでこれまた自由なことでもありましょう。日本人は多神教でもいうのでしょうか、お正月に神様を拝み、夏のお盆には仏様、暮れのクリスマスにジングルベル、ジングルベルとキリスト教を拝む。

さて、まずは関口不動さん

の奥の院よりなおずっと奥深い急峻な山の頂に多くの岩々を仏さんに見立てたのか、知る人ぞ知る千体仏といわれ祭られている処がある。私も地区の友人に誘われ一度お参りしたことがあった。初夏の心地よい上天気にも恵まれた日だった。皆さんと家内も一緒に坂道をとぼとぼとかなりの道程を歩いてやっと千体仏さんのふもとにたどり着いたが、急な山肌には道らしいものも見当たらず、家内が登るのは無理と思え、他のご婦人方と共に私達の帰りを待ってもらったことにした。登りはかなりきつ

山馴れない私はみんなに遅れ、一人ぼっちになりがち。女の人たちでも山馴れた部落の方々は、身軽にすいすい登っていつちゃやう。取り残された僕を心配して友人は何度も降りてきてくれた。この山驚いたことに先ごろまで大槌の金沢へ通う峠道だったそう。金沢から関口や関谷へ嫁さんにこられた御家も数件あるとか聞いた。昔の人は足も丈夫でお伊勢参りも歩いて行かれたほどだ。やがてモーターゼーションの時代を迎えて千体仏峠の行き来は廃れたのだろう。今はこの山路を金沢へ行く人影も絶えた。

足りなかったようですね。偽海葱は面倒な植物ではなく、冬はシクラメンやカネノナルキなど室内に取り込む植物と同じ扱いで構いません。ただし、日光は当てた方がいいです。むかごでも増えますが、春に花が咲いた後、たいいてい種がつかます。それを赤玉小粒にばらまきし、土をかけるに乾かさないうようにしておく約2週間発芽します。ぜひ育ててみてください。

再度募集しますので、希望の方は80円切手を貼った返信用封筒を同封の上、ご応募ください。

▽応募先 〒028-1131 山田町大沢11-17-4 大川重子

偽海葱のむかごプレゼント

4月1日号広報で偽海葱(オーソガラム・コウダタム)の「むかご」をプレゼントする記事を掲載しましたが、希望者は1人でした。偽海葱の説明が

- ◆ 晴れてよし
- ◆ くもってもよし 鯨山
- ◆ 四季おりおりを
- ◆ あきず見わたして
- ◆ ペンネーム・Y子(織笠・?歳)
- ◆ 春が来た木々の蕾は花となり
- ◆ 緑若葉の花衣見る
- ◆ 大川ヒメ子(大沢・62歳)
- ◆ うみねこや七隈隠れ愛されて
- ◆ 海を愛して今日も船を待つ
- ◆ 大町テイ子(大沢・?歳)
- ◆ 啄木も
- ◆ うじょうもききし潮さいを
- ◆ 思い疑らして耳しますおひ
- ◆ 菊地孝進(船越・85歳)